

市民ワークショップ結果報告

生活・自然環境部会

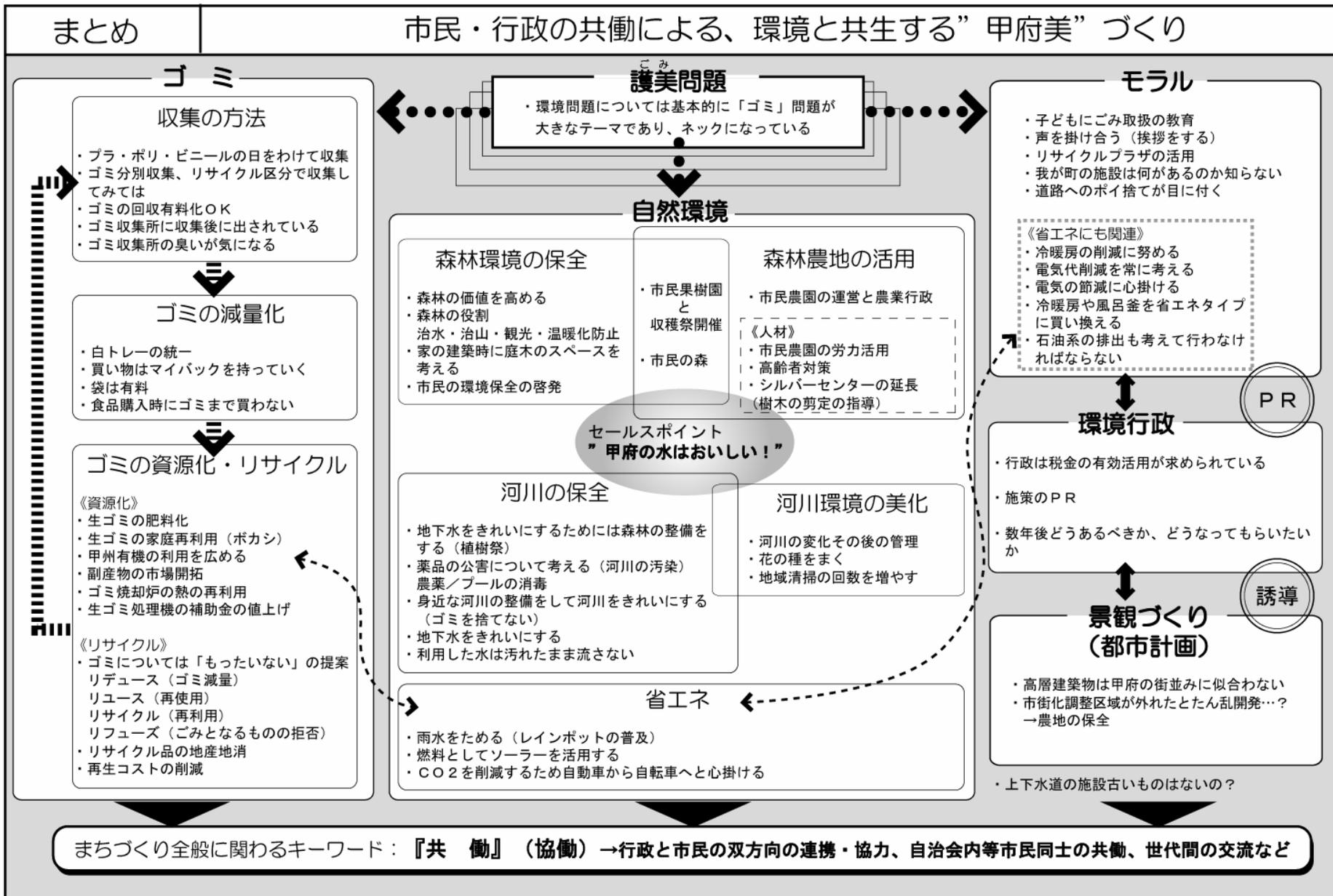


第2回ワークショップまとめ

生活・自然環境部会

テーマ：自然環境、環境保全、ごみのリサイクルなどについて

(仮称) 第5次甲府市総合計画第2回市民ワークショップ
平成17年4月23日(土) 午後1:30~ / 遊亀公民館



第3回ワークショップまとめ

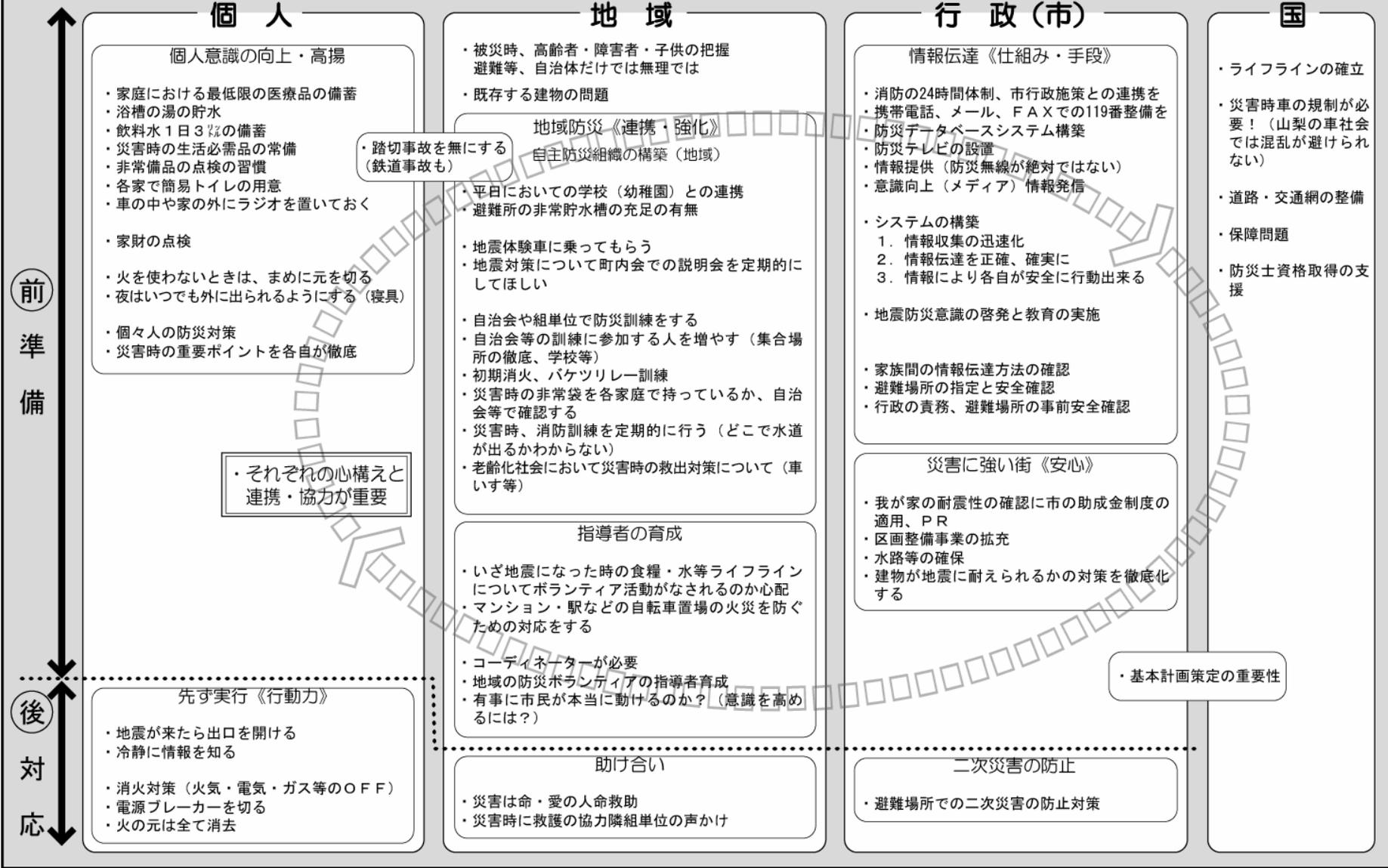
生活・自然環境部会 テーマ：防災対策や消防について

(仮称) 第5次甲府市総合計画第3回市民ワークショップ
平成17年5月28日(土) 午後1:30~ / 県民情報プラザ

まとめ

『市民も地域も行政も^{じしん}“自心”を持って育む、安住の地—甲府づくり』

※自心：自ら地震等の災害に備え常日頃から心がけておく意識のことを意味します。



第4回ワークショップまとめ

生活・自然環境部会 テーマ：交通安全、防犯、消費生活について

(仮称) 第5次甲府市総合計画第4回市民ワークショップ
平成17年7月23日(土) 午後1:30～/県民情報プラザ

※「安土」：安心な暮らしを支える土台、礎のことを意味します

まとめ

意識の“変化”と“高揚”で、安心して暮らせる「安土」づくり ～ “Change and Raise” ～

施設

- 消費生活における道の駅・町の駅の利用、安心な食品の提供
- 信号の位置は正しいところについているか
- 歩行者信号もダイオードに設置替え道路の路側帯拡幅でバイク・自転車が走りやすいように
- 昼間も高齢者の歩きやすい歩道（バリアフリーになっていない）
- 駅前駐輪場の立体整備
- 養護施設の充実（虐待・保護・介護）

安心・安全の土台づくり

地域の仕組/連携

- 防犯 交番に警察官がいない、機能していない
- 外国人が多く来るようになった、防犯対策を
- 独居老人の防犯対策・安全
- 防犯ボランティア・交通安全ボランティアを募集する
- 自治会各組単位に防犯員を置く
- 地域社会の関係の希薄化に歯止めを
- 近所での一声運動、挨拶の徹底
- 顔が見える距離、地域のつながりの再強化
- 小学生の登下校時の交通安全対策
- 町を明るくする運動。一歩路地裏に入ると暗い
- 夜も歩きやすい歩道を増やしてほしい（高低差、明るくする）
- 居酒屋に駐車場がある。なくす事は出来ないか

教育

- 社会の価値観の変化、多様性を認められるように教育
- 情報を選択できる能力の育成
- 労働を担う世代の教育が必要（大人の力不足）
- 子ども、老年世代のお金に関する教育が必要
- 罪の重さの社会教育（未成年）
- 悪い情報を受け止められる（理解できる）教育を

制度

- 勉強不足のため高価な機器を買っていないか？消費生活相談の利用
- グリーン購入の意識向上と商品の購入
- クーリングオフの活用
- 安易な契約は結ばない
- 消費者の「四つの権利」の認識
- 食品の安全確認と原産地表示の徹底とモニター制度の推進
- 食品のトレーサビリティの拡大
- IT革命の利便性に裏あり消費者の保護
- 現状に即した交番を核とした防犯対策の再構築が課題

高揚

マナー

- 駅の周辺に放置自転車が多すぎる
- 公共の場所の放置自動車あり（ホームレス等が入る）
- 学校内の防犯対策は万全か（特に長期休み）
- 学校の校庭を明るくしてほしい（例：夜7時～9時まで電気をつける）
- 地域ぐるみの挨拶運動と住民どうしの意識を高める
- 母子家庭の生活環境等福祉行政の介入方法について
- 青少年の犯罪が増加している。青少年の犯罪防止運動の展開
- 右折車両の譲り合い
- 運転者のマナー啓蒙
- 交通事故が多発している（飲酒運転）

意識の向上(自分)

変化

- 自宅の鍵を再確認
- 庭木の手入れ。中がよく見えないと危険である
- 自転車でのひたくりが多い（最近特に目立つ）
- 美意識の変化（例：地べたに座ったり他人を気にしなかったり）
- ライフサイクルの変化、夜型生活の増加

情報・知識の活用

- インターネット通信販売、売買が契約にて成立、消費者保護の為の契約知識の啓発
- 売買がグローバル化、個人の輸出入、関税等の新しい取引が生じる、商取引の複雑化
- 効率重視の消費生活の転換
- 電話詐欺、訪問販売等、お年寄りをだます知的犯罪の撲滅
- 自宅のリフォームについて神経質になった
- 高齢化社会のリフォームについて
- 各種団体の指導員の高齢化、青少年の精神的ケアができるのか
- 事象を自分に置き換え考える機会を提供
- 庭木の手入れ中がよく見えないと危険